

2026 年度
【人文学部】
一般編入学・転入学試験
学力検査や試験問題の内容

1) 日本文化学科 第Ⅰ期 試験問題

➡公表しています。試験を実施しました。

2) 英米文化学科 第Ⅰ期 試験問題

➡公表しています。試験を実施しました。

3) 日本文化学科 第Ⅱ期 試験問題

➡公表しています。試験を実施しました。

4) 英米文化学科 第Ⅱ期 試験問題

➡公表しています。試験を実施しました。

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、問 1 と問 10 を除き、下線部と問の番号は一致している。

著作権の関係により公開していません。

安室知『田んぼの不思議』（小峰書店、2013 年）より。

但し、出題に際して、一部を改変または省略した。

問 1 文中の空欄（ A ）～（ E ）にあてはまる語句を、次のア～オからそれぞれ 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア. いわゆる イ. このように ウ. これまで エ. しかし オ. なかでも

問 2 この漢字のよみを答えなさい。

問 3 フィールドワークという手法によって、文書にも記録されていない田んぼの利用方法が明確になった。本文から想定されるフィールドワークの強みと弱みを考察し、それぞれ 50 字ずつまとめ、全体で 100 字程度になるように述べなさい。

問 4 田んぼでの魚捕りが消失した理由を、60 字以内で説明しなさい。

問 5 この漢字のよみを答えなさい。

問 6 このカタカナを漢字に改めなさい。

問 7 鳥類にとって田んぼがどのような意味をもっているかを端的に表している部分を本文から抜き出しなさい（6 字程度）。

問 8 このカタカナを漢字に改めなさい。

問9 中国南部（華中・華南）に広大な水田があるのに、なぜ渡り鳥の多くは日本列島に飛来するのか、40字以内で説明しなさい。

問10 本文の内容にふさわしいタイトルを考えなさい（25字以内）。

解答例

問1 A これまで B いわゆる C このように D しかし R なかでも

問2 くわ

問3 水田の魚・狩猟など統計等の記録がない場合、フィールドワークによって新たな事実を掘り起こせる利点がある一方、人の記憶には思い違いや誤りも含まれるため、信頼関係を築き長期的な調査が必要になるなどの困難さがある。

問4 1960年代の高度経済成長期に除草剤などの農薬や化学肥料が大量に使われ始めてからは、以前のような漁狩猟ができなくなったから。

問5 しんし

問6 新田

問7 人工的な湿地

問8 餌場

問9 中国南部地方に行くよりも近い位置に、水田が広く分布する日本列島が存在するため。

問10 魚捕りの場、あるいは、狩りの場としての田んぼ

出題の意図

人文学部日本文化学科が求める学生像（日本語と日本文化を専門的に学ぶ主体性と基礎学力を有し、論理的に考え、自分の意見をわかりやすく伝えられる人）に合致し、学業を継続できる基本的な能力があるかどうかを重視し、編入生・転入生に求められる学力の基盤（論理的思考力、表現力）を測る内容となっている。そのため、試験問題は、自ら学ぶ意欲や、学びを深める姿勢を判断できるように記述式と論述式から構成されている。

2026 年度 北海学園大学人文学部英米文化学科 編入学試験Ⅰ期 問題
(小論文)

次の文章を読み、下の問に答えなさい。

著作権の関係により公開していません。

(池上俊一『ヨーロッパ史入門 市民革命から現代へ』岩波書店、181-182、189-192、
2022 年より 一部改変)

問1 下線部(1)に関して、「ヨーロッパの大きな子供」とは何を指しているのか、テキストも踏まえて説明しなさい。その際、「大きな」という言葉の意味に留意しなさい。

問2 下線部(2)に関して、「アメリカ化」とは何を指しているのか、テキストも踏まえて説明しなさい。

問3 下線部(3)に関して、「英語帝国主義」とは何を指しているのか、テキストも踏まえて説明しなさい。

問4 下線部(4)に関して、「周縁化」とは何を指しているのか、テキストも踏まえて説明しなさい。

問5 テキスト(C)を読んで、著者の立場や危惧に対するあなたの意見を説明しなさい。(400字程度)

解答例

問 1

歴史的にアメリカは多くの移民によって形成されてきた国家である。とりわけヨーロッパの各地からやってきた人々の影響が大きかったとも言え、その意味ではアメリカは「ヨーロッパの子供」である。しかし、同時にアメリカはヨーロッパの優れた理念や多様性を脅かすような存在にもなっており、その意味においてアメリカはヨーロッパの手に負えない「大きな子供」だとも言える。

問 2

「アメリカ化」には理念的なレベルと物質的なレベルがある。このテキストでは、後者の側面を強調している。すなわち、アメリカが生み出した資本主義産業が世界を席卷し、さまざまな地域で同じサービスを受けることができるようになった反面、文化の没個性化や標準化がもたらされることになった。テキストの著者は、この負の側面を「アメリカ化」と呼んでいる。

問 3

通常、帝国主義とは政治的権力や軍事力を背景にして、支配地域を拡大していこうとする考え方や運動を指す。それを踏まえて、テキストの著者は歴史的にはまず大英帝国による英語を用いた植民地経営を、その後アメリカが台頭すると英語が教育、労働、ビジネスの中で大きな影響力を持つようになった状況を説明するために「英語帝国主義」という言葉を用いている。

問 4

「周縁化」とは、英語がさまざまな地域で影響力を増していき、各地域の政治、経済、文化などの中心に据えられていくことで、現地語をはじめその他の言語が中心から離れた位置へと追いやられていく状況やプロセスを説明する言葉である。このテキストでは英語使用の拡大がもたらす負の側面を描くために使われている。

問 5

著者は、過度な英語教育によって結果的に母国語の能力が低下してしまうことを憂慮している。問題の中心は教育における国語（母国語）教育と英語（外国語）教育のバランスであり、両者の接続だと考えられる。他言語を学ぶことによって、母国語の特徴を理解できることもあるし、あるいは異文化がそれぞれの言語によって世界をどのように認識しているかを知ることができる。しかし、そのような考察は通常母国語を基にしてなされるはずなので、過度な、場合によっては早すぎる英語教育は母国語の運用能力にいかなる影響を与えるのかについて科学的に分析する必要があるだろう。また著者は言語を文化の本質的要素として見る立場を取っており、多様な文化を維持するためには多様な言語を保持することが必要だと考えている。このような言語観と文化観を踏まえるならば、母国語か外国語かの二者択一ではなく、バランスよく両者を学ぶことに重点をおいた議論をすべきだと言えるだろう。

2026 年度北海学園大学人文学部英米文化学科編入学試験問題Ⅰ期
(英語)

[1] 次の英文を読んで設問に答えなさい。

著作権の関係により公開していません。

<https://www.japantimes.co.jp/news/2024/07/11/japan/beattie-overtourism-myth/>

【出典】 下記を一部改変

Beattie, E. (2024) Japan doesn't have too many tourists, statistics suggest. It just feels that way. The Japan Times.

<https://www.japantimes.co.jp/news/2024/07/11/japan/beattie-overtourism-myth/>

問 1. 下線部(A)–(E)の語の意味をもっともよく表すものを下記の(ア)–(キ)より選びなさい。

ただし、同じ選択肢が二度用いられることはない。

(ア) the arrival of a number of things or people in a place

(イ) a period of ten years, especially a period such as 2010 to 2019

(ウ) extreme and forceful or of a feeling very strong

(エ) the fact that something is separate and not connected to other things

(オ) the basic systems and services that are needed in order to support an economy

(カ) a natural ability that helps you decide what to do or how to act without thinking

(キ) not treating people or things in an equal way

問 2. 波線部(a)の‘it’s shot’とはどのような場所で、どのようなことが起こる可能性が高いのか、本文に即して、具体的に説明しなさい。

問 3. 二重下線部(1)–(4)を和訳しなさい。

[2] 各文の空所にもっとも適当な語句をそれぞれの選択肢から選び、記号で答えなさい。

(1) Amanda usually () by train.

1. is commuting 2. to commute 3. commutes 4. has commuted

(2) The Sapporo TV tower () over 60 years ago.

1. has built 2. has been built 3. built 4. was built

(3) John () the project if he had time, but he is really busy now.

1. joins 2. joined 3. would join 4. have joined

(4) A: I haven't tried Italian food before. B: Is that so? ().

1. I haven't neither 2. nor I haven't 3. neither did 4. neither have I

(5) We do not understand each other at work, () we respect each other.

1. moreover 2. yet 3. so 4. therefore

(6) The traffic was so () during Golden Week that it took us 30 hours to come home.

1. steep 2. too strong 3. heavy 4. full

(7) The game on the baseball stadium was () by a sudden heavy rain.

1. interrupted 2. fallen 3. refused 4. missed

(8) I () the booking of the concert online.

1. concluded 2. confirmed 3. controlled 4. conveyed

(9) I have to get my train commuter pass renewed because it () tomorrow.

1. activates 2. conceives 3. expires 4. interferes

(10) We have to find () to the worldwide deforestation problems.

1. results 2. causes 3. solutions 4. benefits

[3] 本学部英米文化学科に編入し、専攻したいと思っている専攻領域とその理由について、

100–200 語程度の英語で自由に記述しなさい。

2026 年度北海学園大学人文学部英米文化学科編入学試験問題Ⅰ期（英語）解答用紙

受験番号		氏名	
------	--	----	--

[1] 次の英文を読んで設問に答えなさい。

問 1.

(A)	(キ)	(B)	(ウ)	(C)	(カ)	(D)	(エ)	(E)	(イ)
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

問 2.

例えば山や湖、川の前特定の眺望ポイントなど、インスタ映えするスポットのことで、ソーシャルメディア等で紹介されることで、観光客で溢れかえってしまう。
--

問 3.

(1) 日本は国土が狭く、かつ山がちな島々から成ることも、オーバーツーリズムという認識を生む要因になっています。
(2) 「それだけ多くの来訪者を受け入れながら、そもそも観光客から期待される暮らしぶりを維持できるのでしょうか？」
(3) 日本では、場所によってはオーバーツーリズムが起きる一方で、反対の現象が見られる地域もあるかもしれません。
(4) はっきりしてきたのは、絶対数や相対数といった数字そのものよりも、社会全体への影響のほうが重要だということです。

[2] 各文の空所にもっとも適当な語句をそれぞれの選択肢から選び、記号で答えなさい。

(1)	3	(2)	4	(3)	3	(4)	4	(5)	2
(6)	3	(7)	1	(8)	2	(9)	3	(10)	3

[3] 本学部英米文化学科に編入し、専攻したいと思っている専攻領域とその理由について、100-200 語程度の英語で自由に記述しなさい。

(解答省略)

小論文の出題意図

小論文では、英米文化を中心とした人文学や社会に関する幅広い関心と基礎的知識、ならびにそれらをもとに自らの考えを論理的かつ的確に表現する力を評価します。本文に基づいた読解力を通じて、与えられたテーマの要点を的確に把握できるかを測るとともに、トピックに対する自分の考えを論理的に展開できるかを重視します。英米文化学科での学修に必要な思考力・表現力・論述力を総合的にみることを目的としています。

英語の出題意図

英語の試験では、英語の新聞記事などを題材に、語彙・文法・読解・英作文の各側面から、英語運用力を総合的に評価します。語彙・文法問題を通じて基礎的な英語知識を確認し、読解問題を通して内容理解力・論理的把握力を測ります。さらに、自由英作文では、自分の考えを適切な英語で論理的に表現できるかを評価します。これらを通して、編入後に本学の授業を英語で理解し、積極的に学修を進めるために必要な総合的英語力を確認することを目的としています。

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、問 1 と問 11 を除き、下線部と問の番号は一致している。

著作権の関係により公開していません。

斎藤幸平 2020 年『人新世の「資本論」』（集英社新書）による。

ただし、出題に際して、一部を改変または省略した。

問 1 文中の空欄（ A ）～（ D ）にあてはまる語句を、下から選び、記号で答えなさい。

ア. アメリカ イ. ソ連 ウ. 中国 エ. ドイツ オ. 日本 カ. ロシア

問 2 この用語を 40 字程度で説明しなさい。

問 3 この人物を、主に活躍した分野と年代（世紀）を含め 50 字以内で説明しなさい。

問 4 このカタカナを漢字に改めなさい。

問 5 このカタカナを漢字に改めなさい。

問 6 この漢字のよみを答えなさい。

問 7 このカタカナを漢字に改めなさい。

問 8 この用語を本文の文脈に即して 50 字以内で説明しなさい。

問 9 この漢字のよみを答えなさい。

問 10 この用語を 5 字以内で説明しなさい。

問 11 本文の主張を 100 字以内で要約しなさい。

解答例

問 1

(A) イ (B) ウ (C) オ (D) ア

問 2

人類が地球の地質に与えた影響に注目して新たに設定しようとしている地質時代区分

問 3

19 世紀に哲学・経済学分野で主にロンドンで活躍したドイツ出身の思想家で、主要著書に『共産党宣言』がある。

問 4

独裁

問 5

崩壊

問 6

ようご

問 7

矛盾

問 8

政府が大規模な財政出動で脱炭素と雇用創出を両立し、環境問題を強権的に管理・解決しようとする立場

問 9

ちょうこく

問 10

財産の共有 または 共産主義

問 11

あらゆるものの国有化・商品化に走らず、強い国家に依存もせず、相互扶助に基づき、水、電力、住居、医療、教育といったコモンを、市民が民主的・水平的・拡張的に管理・運営することで環境危機を克服する。

出題の意図

人文学部日本文化学科が求める学生像（日本語と日本文化を専門的に学ぶ主体性と基礎学力を有し、論理的に考え、自分の意見をわかりやすく伝えられる人）に合致し、学業を継続できる基本的な能力があるかどうかを重視し、編入生・転入生に求められる学力の基盤（論理的思考力、表現力）を測る内容となっている。そのため、試験問題は、自ら学ぶ意欲や、学びを深める姿勢を判断できるように記述式と論述式から構成されている。

2026 年度 北海学園大学人文学部英米文化学科 編入学試験 II 期 問題
(小論文)

次の文章を読み、下の問に答えなさい。

著作権の関係により公開していません。

(青木真兵・光嶋裕介・白岩英樹『ぼくらの「アメリカ論」』、夕書房、25-27、2024 年より。ただし、一部改変)

問 1 下線部 (1) に関して、「通低音 (通奏低音)」の意味について、テキストを踏まえて説明しなさい。

問 2 下線部 (2) に関して、アメリカの「歴史が浅いこと」とは、世界史的に考えて何を意味するのか説明しなさい。

問 3 下線部 (3) に関して、「他者への想像力」の意味について、テキストを踏まえて説明しなさい。

問 4 下線部 (4) に関して、「責任 (responsibility)」の意味について、テキストを踏まえて説明しなさい。

問 5 テキストに書かれているような (著者が考える) アメリカの価値観と人文学のあいだにはどのような関係があるだろうか。あなたの考えを述べなさい。(400 字程度)

解答例

問 1

「通低音 (通奏低音)」とはもともとは音楽に関わる用語であるが、テキストでは「アメリカという国」を持続的に特徴づけ、規定している文化的基盤や歴史的影響力を意味する用語として使われている。すなわち、「広大な国土」「歴史が浅いこと」「多様な民族性」が、著者が言うところのアメリカの「声」を聴く上で重要な要素であることを示すために使われたキーワードである。

問 2

アメリカの歴史が浅いという意味は、アメリカ文化を軽視するために使われているわけではない。世界史的文脈において、言い換えればヨーロッパ諸国との関係において、アメリカは圧倒的に後発国である。しかし、他方でその歴史の浅さは「新大陸」アメリカの強みでもあり、伝統や慣習にとらわれた「旧大陸」ヨーロッパとは異なる生活スタイルや発想を生み出す源泉であることを意味している。

問 3

テキストでは、「他者への想像力」は「健全で成熟した社会の倫理」を考える上で重要な力として考えられている。なぜなら、自由で民主的な社会においては、通常、他者は自分とは異なる意見を持っているはずであり、他者とともに社会を構成するためには、他者がいかなる意見を持っているかを想像することが必要だからである。著者は「他者への想像力」が働かないところでは、「多様性」も民主的なルールも危うくなることを危惧している。

問 4

グランドキャニオンでの著者のエピソードなどを踏まえて考えると、著者はアメリカにおいては自由であること、つまり「なんでもできること」が非常に重要な価値として認められていることを強調している。他方で個人が自由を行使するためには、そのリスクを自分で引き受けるという意味での「責任」が伴っている。著者は、その個人を「自立した強い個人」と呼んでおり、個人主義的な観点から「責任」を理解していることがわかる。

問 5

著者は「アメリカという国」の底に流れる「通低音」を3つ指摘した上で、アメリカの価値観として「自由であること」「機会の平等」「多様性」「責任」などをあげている。とくに「機会の平等」の議論では、「アメリカの独立宣言」の一節「すべての人が平等である」を引きながら、歴史的視点からアメリカの価値観を基礎づけようとしている。人文学的に考えれば、このような平等理解は聖書にその根拠を持っているものであり、アメリカ的価値観の形成に宗教文化や聖典解釈が大きな役割を果たしていることがわかる。すなわち、人権としての人間の平等性を議論する際、アメリカは聖書という伝統的規範に依拠しながら文化的価値を形成しているのである。聖書のうちに人間社会を基礎づけるルールを見出した解釈学的視点は、時にきわめて人文学的であり、その意味では「アメリカという国」の「通低音」のうちに古代ギリシア・ローマ、そして中世ヨーロッパ以来の人文学の影響を見ることも不可能ではないだろう。

2026 年度北海学園大学人文学部英米文化学科編入学試験問題 II 期
(英語)

[1] 次の英文を読んで設問に答えなさい。

著作権の関係により公開していません。

【出典】下記を一部改変

Yan, H., & Goldschmidt, D. (2024). Los Angeles school board will ban students from using cell phones during the school day. But questions loom on how to do it. CNN.

<https://edition.cnn.com/2024/06/18/us/lausd-cell-phone-ban-students/index.html>

問 1. 下線部(A)–(E)の語の意味をもっともよく表すものを下記の(ア)–(キ)より選びなさい。ただし、同じ選択肢が二度用いられることはない。

(ア) actions or behavior that use threats or force against others

(イ) a formal statement of a planned new law that is discussed before being voted on

(ウ) the group of people who are responsible for controlling the operation of an organization

(エ) a period of time in which people are not allowed to leave their homes or travel freely

(オ) in school, a period of time between classes when children do not study

(カ) a piece of writing or speech in one language that has been changed into another language

(キ) a worried or nervous feeling about something, or something that makes you feel worried

問 2. Melvon 氏の発言「それが我々が最初に思い浮かべることであるというのは、この時代の悲劇的な兆候であると思います。」の中で、波線部の(a)that が表す内容を具体的に説明しなさい。

問 3. 二重下線部(1)–(4)を和訳しなさい。

[2] 各文の空所にもっとも適当な語句をそれぞれの選択肢から選び、記号で答えなさい。

(1) Please don't talk to me. I () on a challenging task now.

1. mark 2. worked 3. have worked 4. am working

(2) She finished the race () her injury.

1. while 2. despite 3. although 4. because of

(3) If you had listened to me seriously at that time, you () happier now.

1. are 2. would be 3. will have been 4. would have been

(4) There is () when a big earthquake will hit Japan again.

1. telling 2. no telling 3. not telling 4. not to tell

(5) Johnson cooks every evening () he is too tired.

1. despite 2. without 3. whether 4. unless

(6) The man at the electricity shop said he could not () our air conditioner.

1. repair 2. attached 3. make 4. secure

(7) During summer with air conditioners on all day, electricity () rises sharply.

1. amount 2. quantity 3. frequency 4. consumption

(8) The damage was a lot bigger than anyone could have ().

1. preceded 2. predicted 3. preserved 4. prevented

(9) The professor () the due date of the report to Wednesday.

1. expressed 2. explained 3. extended 4. exploded

(10) Tokyo International Airport is very busy; there are more than 1,200 arrivals and () a day.

1. purchase 2. departures 3. leaving 4. going

[3] 本学部英米文化学科に編入し、専攻したいと思っている専攻領域とその理由について、100–200 語程度の英語で自由に記述しなさい。

2026 年度北海学園大学人文学部英米文化学科編入学試験問題 II 期（英語）解答例

受験番号		氏名	
------	--	----	--

[1] 次の英文を読んで設問に答えなさい。

問 1.

(A)	(オ)	(B)	(キ)	(C)	(ウ)	(D)	(カ)	(E)	(イ)
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

問 2.

生徒が親と連絡を取る必要がある場面として、例えば銃乱射事件のような緊急時が真っ先に思い浮かぶこと。

問 3.

(1) 高校教師の 72%が、携帯電話による注意散漫は「教室での大きな問題だ」と述べています。
(2) 学生たちのスマートフォン（携帯電話）依存は、対人関係の形成、精神的健康（メンタルヘルス）、そして学業の成果に悪影響を及ぼしています。
(3) 「緊急事態があった場合、電話でつながらないと、保護者は学校に駆けつけます。」
(4) 教育委員たちは、フロリダ州が学区の Wi-Fi でソーシャルメディアへのアクセスを遮断していることにも言及しました。

[2] 各文の空所にもっとも適当な語句をそれぞれの選択肢から選び、記号で答えなさい。

(1)	4	(2)	2	(3)	2	(4)	2	(5)	4
(6)	1	(7)	4	(8)	2	(9)	3	(10)	2

[3] 本学部英米文化学科に編入し、専攻したいと思っている専攻領域とその理由について、100-200 語程度の英語で自由に記述しなさい。

(解答省略)

小論文の出題意図

小論文では、英米文化を中心とした人文学や社会に関する幅広い関心と基礎的知識、ならびにそれらをもとに自らの考えを論理的かつ的確に表現する力を評価します。本文に基づいた読解力を通じて、与えられたテーマの要点を的確に把握できるかを測るとともに、トピックに対する自分の考えを論理的に展開できるかを重視します。英米文化学科での学修に必要な思考力・表現力・論述力を総合的にみることを目的としています。

英語の出題意図

英語の試験では、英語の新聞記事などを題材に、語彙・文法・読解・英作文の各側面から、英語運用力を総合的に評価します。語彙・文法問題を通じて基礎的な英語知識を確認し、読解問題を通して内容理解力・論理的把握力を測ります。さらに、自由英作文では、自分の考えを適切な英語で論理的に表現できるかを評価します。これらを通して、編入後に本学の授業を英語で理解し、積極的に学修を進めるために必要な総合的英語力を確認することを目的としています。